



にじのまつばら

96

# 虹の松原

- 所在地／唐津市鏡虹ノ松原
- 規模／幅0.4～0.7km、長さ5km、面積230ha、樹齢400年
- 指定／玄海国定公園、特別名勝、防風保安林、潮害防備保安林、保健保安林
- 問合せ／唐津市商工観光部観光課 電話 0955-72-9127

佐賀県



## 立地環境

玄界灘に面しており、ゆっくりと弧を描いた松林が弓形状に広がります。西端に川を隔てて唐津城があり、南には鏡山がせまります。

## 松原の今昔物語

### 太閤伝説の残る松原～爽涼な空気とすがすがしい松の香りに包まれて

文禄4（1595）年、唐津藩主・寺沢志摩守が、防風林を造成するため農民に松苗木を植えさせたのがはじまりといわれます。盗伐を禁止するため、藩主は「松林の中には予が愛する松が七本ある。その松を切った者はその場で打ち首にする」というおふれを出したという「寺沢志摩守の七本松」の伝説があります。

松林は幼木から400年生以上の老松までが立生するクロマツ林で、「太閤にらみの松」、「根上がりの松」などの名松もあり、さらに「松原の七不思議」を秘めていることでも有名です。

また、この松林は1771年の松原一揆の舞台になっている一方、戦前までは国際高級避暑地として、「レインボーパインツリーズ」の愛称で広く世界に紹介されるなどの歴史もあります。広大な砂丘にあって、各種保安林としての機能も十分に果たしている、大切な松林です。

## COLUMN

85種類もの野鳥や、ハマヒルガオの群生が魅力。運がよければ希少なキノコのショウロを観察できます。近くの鏡山公園や魚見台公園は、虹の松原の全景を一望できる絶好のビューポイントです。

## ACCESS

●電車やバスの場合

JR 筑肥線虹の松原駅下車すぐ

●車の場合

長崎自動車道「多久」I.C.より国道203号線経由40分  
駐車場有り

